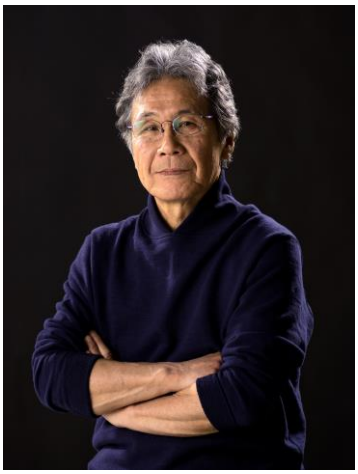
受賞者プロフィール等

○　6回目となる『ものづくり一本木選奨』、令和２年度の受賞者は次の３名。

＃　通算４人目となる長原賞には、親子で工房を営み、天然木を活かした腕前の職人そして遊び心ある木工作家として活躍している大門 嚴（だいもんたけし）さん。



（東川町／木工家具職人、木工作家、アートクラフト･バウ工房主宰）

旭川高等職業訓練校卒業後、木工家具職を経て、自身の工房を設立。技能五輪国際大会で第３位、旭川新人奨励賞を受賞するなど受賞多数。国内外での招待出品や講演等も行い、作品が永久展示品（パーマネントコレクション）としても収蔵されている。

＃　今回から新設した「地域貢献賞」には、織と染めの技術を磨き、小樽ならではの作家活動と共に愛好者や後進の指導、育成に携わっている寺岡和子（てらおかかずこ）さん。

（小樽市／染織工芸家、染織アトリエ Kazu 主宰）

女子美術大学卒業後の’60 年代から造形美術作品を国画会展、全道展、現代工芸展に出品。全道展では奨励賞を２度受賞。手織教室をはじめ、北海道東海大学・小樽美術館美術等で後進の指導、育成に携わる。北海道女流工芸「一の会」の設立に参加し、文化交流や工芸の振興に尽力している。

＃　ものづくり活動の将来を担う若者への「奨励賞」には、函館に移住し活躍している鳥倉真史（とりくらまさし）さん。

（函館市／木工家具製造、家具職人、家具工房「くらｃｒａ」主宰）
北海道芸術デザイン専門学校卒業後、㈲インテリア北匠公房を経て、2019 年に函館に移住し工房を開設。地域ブランド「新箱館家具」デザインコンペ 2018 で最優秀賞の受賞や、旧函館区公会堂の家具の調査と修繕に携わる。道南スギを使った針葉樹の活用方法に取り組んでいる。